


百人一首 (うたばんごう 歌番号: 11 ~ 15)

<p>君がため 春の野に出でて 若菜つむ わが衣手に 雪は降りつつ</p> <p>光孝天皇 こうこうてんのう</p> 	<p>陸奥の しのぶもぢずり 誰ゆゑに 乱れそめにし 我ならなくに</p> <p>河原左大臣 かわらのさだいじん</p> 	<p>筑波嶺の みねより落つる みな川の 恋ぞつもりて 淵となりぬる</p> <p>陽成院 ようせいのおん</p> 	<p>天つ風 雲の通ひ路 吹き閉ぢよ 乙女の姿 しばしとどめむ</p> <p>僧正遍照 そうじょうへんじょう</p> 	<p>わたの原 八十島かけて 漕ぎ出でぬと 人には告げよ あまのつり舟</p> <p>参議篁 さんぎたかむら</p> 
<p>わがころも でにゆきは ふりつつ</p>	<p>みだれそめ にしわれな らなくに</p>	<p>こいぞつも りてふちと なりぬる</p>	<p>おとめのす がたしばし とどめん</p>	<p>ひとにはつ げよあまの つりぶね</p>